

令和4(2022)年度 指定管理者制度導入施設 管理運営評価結果書

Table with 4 columns: 施設名称, 施設所在地, 指定期間, 施設区分, 事業実施型. Includes details for 郡山市少年湖畔の村 and 学校法人国際総合学園.

Table with 8 columns: 評価項目, 評価基準, 配点(標準点), 指定管理者自己評価, 自己評価コメント, 市評価, 市評価コメント, 特記事項.

Section I: 市民の平等な利用の確保. Rows for 1 平等利用, 2 危機管理・事故・災害等への対策・対応, and a 小計 row.

Section II: 施設の効用の最大限の発揮. Rows for 3 管理運営方針, 4 事業実施状況, 5 広報・PRの実施, 6 接客態度, 7 苦情・要望の把握・対応, 8 市・関係機関・類似施設・地元等との連携, 9 利用者アンケートへの対応状況, and a 小計 row.

Section III: 管理経費の縮減. Rows for 10 帳簿管理・経理, 11 収入確保・支出の適正化等・予算の執行状況, and a 小計 row.

Section IV: 管理を安定して行う人的、物的能力その他経営上の基盤. Rows for 12 人員・研修体制, 13 収支状況, 14 連絡調整, and a 小計 row.

Section V: 適切な施設の維持管理. Rows for 15 施設・設備の保守管理, 16 安全の確保, 17 清掃・衛生・美観維持, 18 備品の管理, 19 持ち込み物品等の管理, 20 法令等遵守, 21 個人情報保護, and a 小計 row.

(様式2)

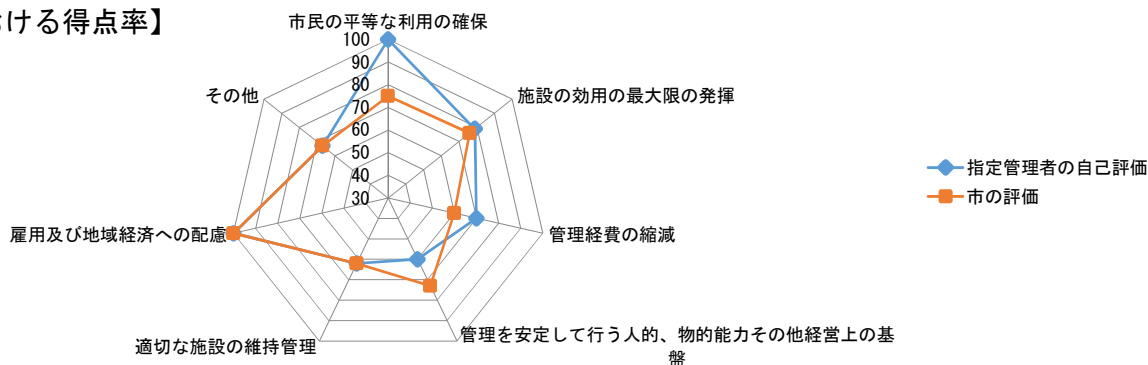
VI 雇用及び地域経済への配慮						
22	雇用・労働条件への配慮	労働基準法等の労働関係法令、郡山市公契約条例等の順守がなされているか。 労働条件への配慮は十分か。	3(2)	3	日勤・宿直ともに労働関係法令を順守し適正な労働環境を保持している。	3
23	地域経済への配慮	計画通りに市内からの職員採用を行っているか。 再委託は計画通り適正に行われているか。 市内事業者への再委託を行っているか。	3(2)	3	全職員、市内から採用を行った、また再委託先も市内の業者を採用し、適正な契約を交わしている。	3
小計			6	6		6
VII その他						
24	活動指標	設定した指標の目標値（開館日212日）を達成しているか。	2(1)	2	新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、施設稼働日は目標を上回った。（結果217日）	2
25	成果指標	設定した指標の目標値（施設利用者数6,400人）を達成しているか。	2(1)	1	コロナ禍の影響で目標値には届かなかったが、一定数の成果を挙げる事が出来た。（結果4,416人）	1
26	指定管理業務への姿勢	積極的な管理運営、市に協力的であるか 地域や民間事業者と円滑な関係を構築しているか	2(1)	1	公平性を維持しながら利用者のニーズには出来る限り応え、災害時には迅速・柔軟に対応した。市への協力体制を保持し、地域住民や民間事業者等とも円滑な関係を構築している。	1
小計			6	4		4
合計点			100	72		71

	実 績					合計
	令和元（2019）年度	令和2（2020）年度	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度	令和5（2023）年度	
指定管理料（千円）	18,696	17,882	18,544	18,749		73,871
利用料金収入（千円）	328	84	158	365		935
利用者数（人）	3,365	1,661	1,705	4,416		74,806
二次評価（市の評価）	C <sup>+</sup>	C <sup>+</sup>	B	B		
備 考	台風19号、新型コロナウイルス感染症の感染拡大	新型コロナウイルス感染症拡大 福島県沖地震 (2021.02.13)	新型コロナウイルス感染症拡大 福島県沖地震 (2021.03.16)	新型コロナウイルス感染症拡大		

サービス向上対策

自主事業として「親子野菜作り」「湖畔の村一日体験」を実施し、湖畔の村での過ごし方・活用方法を市民に向けて発信した。
自転車、キャンプ用品、テント等を整備し、物品販売（飲料・薪・炭）を行うことで、利用者の屋外での活動を支援した。
一昨年度製作した施設案内用のリーフレットの中へ、施設の備品、物品一覧表を同封し、市内教育機関や地元企業へ配布して施設の案内を行った。
1件の問い合わせに対し、懇切丁寧な回答を心掛けた。来館された利用者からの質問や要望に対しても、職員が親身になりお答えした。

【各評価区分における得点率】



【一次評価（指定管理者による自己評価）】

評価	点数	評価内容
B	72	<p>【総合評価（評価できる点等）】 新型コロナウイルス感染拡大防止を図りながら、施設の立地特性を活かし、キャンプ用品や自転車の在庫を確保し、屋外アクティビティが楽しめる施設であることを発信し続けたことで、家族やグループ単位での利用が増加した。その結果、前年度を超える利用者数を確保した。利用者の利便性向上のため、飲料水・薪・炭等の物品販売を開始し、利用料金収入確保の道も開拓した。地域団体「ぐるっと湖南伝承会」・NPO法人「ホールアース自然学校福島校」と連携し事業を実施することに加え、「親子そば打ち体験」では地元の県立湖南高校の教師・生徒協力のもとで事業を行った。また、イナイチサイクルの休憩所として認知度に図った。提案事業のアンケートによれば、毎回参加者からは満足度の高い回答結果を得ることができた。また、今年度、当施設の認知度を上げるために、自主事業を開催した。「親子野菜作り」「湖畔の村日帰り体験」では、参加した方々の一定数が、その後、リピーターとして施設を利用した。</p> <p>【次年度に向けて改善が必要な点】 現在は電話・FAX・郵便を活用し対応しているが、ホームページからの問い合わせや申し込み受付に関してWebで対応できる体制を整備していく必要がある。また利用者アンケートでは、Wi-Fi環境の整備を望む声が多いため早期の整備を実現したい。その他、利用者のニーズを検証し、物品販売を促進していく。貸館・宿泊の申請手続きについては前年度より簡略化されているが、デジタル化を要望する声が大半である。料金支払いでも、キャッシュレス化を要望している。今後は、HP・SNSをより活用して施設のPRを進めていく。</p>

【二次評価（市による評価）】

評価	点数	評価内容
B	71	<p>【総合評価（評価できる点等）】 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めながらも、活動指標の開館日は達成できている。成果目標の利用者数についても、目標値までは届かなかったが個人や家族単位の利用をアピールすることでコロナ過前よりも高い成果を挙げている。また、地元の地域団体やNPO法人との連携や、自主事業である飲み物・炭・薪の販売を継続することでも周知や利用者増加につなげている。利用者からのアンケートでも個別対応や相談で高い評価を受けており、各種対応を継続することで、安定した運営と評価が見込まれる。自主事業である飲み物・炭・薪の販売を行うことで、収入確保や気軽な利用者増へつなげている。</p> <p>【次年度に向けて改善を望む点】 各種契約の検査書について、記入方法の誤りがあるため、適正な書類の確認を行うこと。危機管理マニュアルが各施設ごとでなく、法人共通のものであるため、施設に合わせたマニュアルが望ましい。アンケートでWeb予約への要望が継続してあるため、検討したうえで体制を整えることに努められたい。</p>

【改善のための行動計画】

行動計画
<p>【前年度の指摘事項】 契約に関する書類の中で、検査書が添付されていない契約があったため、適正な書類管理を行うこと。持ち込み物品についての管理簿が確認できなかったため、作成して保管すること。アンケートにおいてWeb予約への要望があるため、検討したうえで体制を整えるよう努められたい。</p> <p>【改善対応状況】 年間の委託契約、修繕が発生した際の契約に関する検査書、持ち込み物品についての管理簿を整備した。提案事業や季節毎の施設の案内について、SNSによる情報発信を継続している。Web予約に関しては、主催事業の予約受付をGoogleフォームでの予約受付へ移行することで、利用者の利便性を確保していく。また、引き続き利用者の利便性向上のため、物品販売（飲み物・薪・炭）をした。今後の課題は、利用者のニーズに適した販売を拡大していく。利用者のゴミを当施設で処分している。</p>